

平野次郎教諭のワークショップ「音楽授業のmana viva」と
高倉弘光教諭のワークショップ「音楽授業ラボラトリー」の

コラボ企画!

mana viva Vol.4

Manaviva × Laboratory

2021年 8/9 (月・振休) 14:00～16:30 / Zoom によるオンライン
セミナー形式 (13:30 より入室開始)

今回のテーマ

音楽の授業で「書くこと」の意味 ～教師の「書く」編～

授業における「書くこと」。教師の板書をはじめ、子どもたちのノートやワークシートなど…それは日々の授業の中で、時に無意識なほど当たり前に行われています。一方、特に音楽科において、この「書くこと」に強く意識を向けたり、授業研修の対象としたりすることは、あまりないのでは。

ところが…高倉先生と平野先生は、「書く」ということが音楽の授業の在り方にも大きく影響すると考えているようです。

中でも今回取り上げるのは、板書を主とした「教師の『書く』」。たとえば、鑑賞の授業でのわずかな板書の工夫が、子どもたちの曲への興味や授業への意欲を揺り動かすこと。

たとえば、板書した文字や図を「音」とつなげることの大切さ。たとえば、「耳や心で音や音楽を味わうこと」と「板書で音や音楽を理解すること」のタイミングによって、学びの意味や深まりがすごく変わる。

そして、そのような板書が、子どもたちの音楽への理解や関心・愛着を格段に深めさせ、「音楽大好き!」という子どもの姿へつながっていくこと…

高倉先生・平野先生が、普段の板書を実演しつつ、具体的な授業ノウハウを通して、音楽科における「書くこと」の意義や要点をたっぷりご紹介します。「板書1つでこんなに差が?」「今までこんなふうに考えたことなかった!」と、びっくり感動すること間違いなし! 「書くこと」を視点にして、音楽の授業を見つめ直すという斬新な体験を、ぜひ一緒にしましょう!

講師

高倉弘光・平野次郎
(筑波大学附属小学校教諭)

日程 内容

14:00-14:15 オープニングトーク
音楽科で「書くこと」にはどんな意味がある?
14:15-15:00 高倉先生の『書くこと』
15:15-16:00 平野先生の『書くこと』
16:00-16:30 まとめトーク&質問コーナー
※予定は変更になる場合があります

参加費

2500 円 (イベントペイシステム利用料込)

申込 方法

右のQRコードより
Webイベント受付システム
「イベントペイ」で
お申込みください→



★お申込み・Zoom までのご参加にあたっては、
留意事項がいくつかございます。詳細は
上記イベントペイのページでご確認ください。

申込締切: 8/8 (日・祝) 20:00

問合せ

オフィス meSquare (メールでお問合せください)
mesquare.info@gmail.com

主催・企画デザイン オフィス meSquare (代表: 小島綾野) <http://me-square.com>

協力・楽器提供 株式会社 鈴木楽器製作所 後援 (株)音楽之友社 「教育音楽」編集部